2　地理歴史・公民

学校番号	3020

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代社会（第一学習社）						
副教材等	本質が見えてくる　最新現代社会資料集　新訂 2020（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の様々な問題について考え、その問題に対する自分の考えを発表できる。
・そのために日頃から、新聞・ニュース等に関心を持つ。
・日本だけでなく、国際的な問題にも目を向ける。

2　学習の到達目標

現代社会の諸問題と人間の在り方・生き方について広い視野に立って探求えさせる。リテラシーの力を向上させ、様々な情報から社会の状況を読みとり自己の意見を形成し、それを発表し伝える力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
主たる評価方法	ワークシート レポート・発表	定期考査 レポート・発表	定期考査 レポート・発表	定期考査 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1編　私たちの生きる社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・科学技術の発達と生命倫理 ・高度情報社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：地球環境問題、資源・エネルギー問題、科学技術、高度情報社会に対して関心をもち、自分自身の問題として理解しようとする態度を身につけている。 b：調べた内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現する方法が身についている。 c：教科書に掲載されている地球環境問題、資源・エネルギー問題、科学技術、高度情報社会に関する図版・写真・資料などを適切に使用している。 d：地球環境問題、、資源・エネルギー問題、科学技術、高度情報社会について、理解している。	ワークシート レポート ポスター作製
	第2編第1章　現代に生きる青年	・青年期の意義と自己形成の課題 ・現代社会における青年の生き方 ・伝統や文化と私たちの生活	○	○	○	○	a：青年期の心理にはどのような特徴があるのか，自分自身の問題として考える態度を身につけている。 b：青年期の意義について，具体的な事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c：職業選択やボランティア活動・男女共同参画社会などに関する資料をインターネットなどの情報手段を活用して収集している。 d：異文化理解について，具体的事例をあげて多角的に考察している。	定期考査 ワークシート レポート
	第2編第2章　個人の尊重と法の支配	・民主政治における個人と国家 ・基本的人権と法の支配 ・世界のおもな政治体制	○	○ ○	○	○ ○	a：世界のおもな政治体制を理解しようとする態度を身につけている。 b：私たちの生活と政治や国家のかかわりや基本的人権が保障されるにいたった経緯について，調査した内容をわかりやすく発表する方法を身につけている。 c：世界のおもな政治体制や日本国憲法の三つの基本原理などについて，教科書に掲載されている写真・図版などを適切に使用して理解しようとしている。 d：国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解している。基本的人権が保障されるにいたった経緯についての知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

	第2編第3章　現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・三権分立 ・地方自治	○	○	○	○ ○ ○ ○	a：日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位，三つの基本原理について，主体的に理解しようとする態度を身につけている。 b：国会の権限について，多角的に考察している。議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について，多角的に考察している。裁判所の役割や裁判員制度について，資料を収集し，レポートをまとめている。 c：地方自治に住民はどのような権利をもっているか，さまざまな情報手段を使用して，調査する方法を身につけている。 d：国会の権限についての知識を身につけている。議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化についての知識を身につけている。裁判所の役割や裁判員制度についての知識を身につけている。地方自治に住民はどのような権利をもっているか，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
2学期	第2編第4章　国際政治の動向と日本の役割	・今日の国際社会 ・地域紛争と人種・民族問題 ・外交政策と日本の役割	○ ○	○	○	○ ○ ○	a：国際社会の一員として私たちは何をすべきか，自分自身の問題として理解しようとする態度を身につけている。 b：国際法の意義と役割について，多角的に考察している。 c：人種・民族紛争の実態，難民問題に関する資料について，さまざまな情報手段を用いて収集している。 d：国際連合の役割と課題についての知識を身につけている。人種・民族紛争の実態，難民問題について理解している。国際社会の一員として何をすべきかを，理解している。	定期考査 ワークシート レポート
	第2編第5章　現代の経済社会と私たちの生活	・経済社会と経済体制 ・市場経済のしくみ ・金融機関の働き ・戦後の日本経済の動き ・労働問題、社会保障	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a：経済の基本的なしくみを主体的に考える態度を身につけている。 b：日本銀行の役割や金融の自由化、労働問題、社会保障などの問題について，レポートを作成するなど，適切に表現する方法が身についている。 c：平成不況に対する政策について，書籍やインターネットなどを使って収集し，それらをもとに考察する方法を身につけている。 d：経済の基本的なしくみについて理解し，知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

3学期	第2編第6章 国際経済の動向と日本の役割	・国際経済のしくみ ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際協調と日本の役割	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 国際経済の基本的なしくみを主体的に考える態度を身につけている。 b: 地域的経済統合について，多面的・多角的に考察している。 c: 国際経済の中で日本はどのような役割を果たすべきか，さまざまな情報手段を用いて，資料を収集し，具体的な事例から多角的に考察している。 d: 国際経済と国際協調について理解している。	定期考査 ワークシート レポート
	第2編第7章 現代に生きる倫理	・日本の伝統的なものの考え方 ・近代の西洋思想 ・現代に生きる人間の倫理	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について考えようとする態度を身につけている。 b: 平等な社会に向けて私たちは何をすべきか主体的に考え，適切に表現する方法を身につけている。 c: 日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，書籍やインターネットなどの情報手段を活用して，資料収集をおこなっている。 d: 日本の伝統意識を理解し，仏教や儒教，西洋思想の影響について知識を身につけ、人間の尊厳や科学的なものの考え方について理解している。	定期考査 ワークシート レポート
	第3編 ともに生きる社会をめざして	・税と社会 ・東日本大震災後のエネルギー問題をめぐって ・人口問題と私たちの未来	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:税と社会，エネルギー問題，世界の人口問題といった具体的なテーマから，自分自身の問題として理解しようとしている。 b: 給与明細から税について考察したり，原子力発電所の再稼働をめぐる問題を通してエネルギー問題について考察したり，世界の人口問題を通して私たちの未来を考察している。 c: 教科書に掲載されている写真・図版・資料などを適切に使用している。 d:個人と社会の関係，社会と社会の関係，将来世代と現役世代の関係について，幸福，正義，公正などの視点から，理解している。	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。